

教えて！ にちぎん

日本銀行の 国際業務



日本銀行で広報を担当する父を持つ大学生の知子さんと中学生の^{まなぶ}くん。今回は日銀の国際業務について勉強します。日銀をよくご存じない方も、一緒に訪問した気分であらゆるお読みいただければ幸いです。より詳しい内容は、HPの「教えて！ にちぎん」をぜひご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/oshiete/index.htm>

国際会議への総裁の出席

学、ほら、総裁がテレビに出てるわよ。

本当だ。えーっと「ワシントン」から、財務大臣・日銀総裁の共同記者会見の様子が日本と昼と夜が反対なんだね。

G7、つまり先進七カ国の財務大臣・中央銀行総裁会議が終わり、会議の様子を報道機関に説明しているんだよ。

国際会議に出るのも総裁の仕事なの？

そうだよ。こうした国際会議に限らず、各国の政府や中央銀行と、世界の金融経済の状況や金融政策などについて情報や意見を交換しているんだ。

日銀の国際業務

日銀には、海外との仕事もあるの？

そうか、日銀の国際業務についてまだ説明していなかったね。

どんなことをしているの？

わかりやすく教えて。いろいろな仕事があるけれど、例えば、「海外の金融経済などの調査」「海外の中央銀行や国

際機関への協力」「国際金融システム安定への取り組み」「国から委託されている事務」に大きく分けることができると思うよ。

海外の金融経済などの調査

以前、「国内だけでなく海外の金融経済の動向も調査している」「調査結果は金融政策決定会合で判断材料として活用されている」と教えてもらったわ。

よく覚えていたね。国内と海外の金融経済の一体化が進む中で、海外の動きを調査する重要性は一段と高まっているんだ。

いわゆる「グローバル化」だね。

そう。海外の経済や市場を「国際局」や「金融市場局」が調査している。ほかにも多くの局などで海外の調査を行い、日銀の政策や業務に活かしているんだ。

海外の中央銀行等への協力

「海外の中央銀行や国際機関への協力」について教えて。

例えば、海外の中央銀行や国際機関は、日銀に自分の預金口座を設けて、そこに自分が持つて

いる円資金を預けることができるんだ。また、円資金の運用のために購入した国債などを日銀に預けることもできるんだよ。日銀も、主要国の中央銀行などに外国通貨や債券などを預けているよ。

中央銀行がお互いにサービスを提供し合っているのね。

ほかに、例えば、アジア諸国などを主な対象として、中央銀行業務のノウハウ提供などの「技術支援」を行っているよ。

国際金融システムの安定

「国際金融システム安定への取り組み」って難しそうだね。

世界経済が安定的に発展するためには、国際金融システムが正常に機能し、企業や金融機関が安心して国際的な取引を行える環境が必要なんだ。日銀は、海外の中央銀行や国際機関と情報交換を行い、国際金融市場のリスクを把握するんだ。そして、国際会議に参加して国際的なルール作りを行っているんだよ。

どんなことをしてきたの？

いろいろあるけど、例えばアジアだけを見て、一九九七年にアジア通貨危機が発生したこと

を受けて、危機対策として各国が外貨を必要に応じて相互に供給する契約を結んだよ。市場安定化を目指してアジア債券市場の育成にも取り組んでいる。二〇〇五年には日銀内に「アジア金融協力センター」を設置し、アジア諸国との金融面での協力を深めているよ。

最近はどうなの。リーマン・ショックとか呼ばれる金融危機がおとこの秋に発生したけど。

金融危機が発生したときには、主要国等の中央銀行が協力して、中央銀行間の資金融通も迅速に実施したんだ。これも危機時に協力する関係を普段から築いていたからこそできたと言えるよ。

最近では、国際的に活動している金融機関やヘッジファンドへの規制の強化も話し合われているんじゃない？



国際会議

よく勉強してるね。そのとおりだよ。

国から委託されている事務

国から委託されている事務もあるの？

国際金融に関する事務を委託されているよ。為替介入―正式には「外国為替平衡操作」―は聞いたことがあるだろう？

円高や円安が急に進んだときに「政府・日銀は外国為替市場に介入した」と報道されるわね。

日銀は、国の指示で、代理人として為替介入をしているんだ。知らなかった。代理人なんだ。介入はどんなふうにするの？

国―具体的には財務大臣―から日銀に、例えば「円を売ってドルを買う」という指示が出される。日銀はそれに沿って金融機関等との間で取引を行う。介入は国が決めて行うものなので、資金も国から出されているんだ。

国はなぜ介入をするの？

外国為替相場、特に円相場が急激な変動を抑えるためだよ。円相場が急激に変動すると、よくないの？

そうだね。急激に円高や円



為替の動きの把握

安が進むと、例えば、輸出や輸入に大きな影響が出るなど企業活動が不安定化し、経済に悪影響を及ぼすことがあるからだよ。

国はなぜ日銀に為替介入を委託しているの？

日銀は金融経済情勢を判断するため、海外の中央銀行とも情報交換しながら為替相場を詳しく把握している点などを踏まえてのものだと思うよ。

国から委託されている事務はほかにあるの？

「外為法」上の報告等の受理、「国際収支統計」や「本邦対外資産負債残高」の作成があるよ。

国際業務って大変そうね。お父さんも経験したことあるの？

全くないんだ。だから今回は、日銀の国際業務の多くを行っている国際局の人を紹介するよ。

知子さんと学くんの 日銀訪問



【国際局】

先日、お父さんから日銀の国際業務の概要を教えてくださいました知子さんと学くん。今回は国際局の大野さんを訪問し、話を聞くことになりました。

はじめまして。神田知子です。よろしくお願ひします。大野です。よろしく。弟の学です。今日は日銀の国際業務について、国際局のお仕事を中心に教えてください。

国の委託事務

まず国から委託されている事務から説明しましょう。

為替介入については既にお父さんから教えてもらったと思いますが、円と外貨の売買を金融機関等との間で行うのは金融市場局です。国際局では、相手先との間で取引内容の確認と資金の決済を行っています。

外為法の報告の受理の仕事もあると聞いたのですが。

外為法、正式には「外国為替及び外国貿易法」は、外国との間の資金・物・サービスの移動に適用されます。日銀では、この法律に基づいて報告される書類を受理する仕事などを国から委託されています。それぞれの書類が法律どおりに報告されているかチェックしなければならぬので大変な仕事です。

報告書を書いて提出する

なんて、面倒ですね。

二〇〇五年からインターネットを通じてパソコンでできるようにになりました。報告するだけでなく、私どもや国の事務負担も小さくなりました。

「国際収支統計」「本邦対外資産負債残高」とはどのようなものですか？

前者は、国内に住んでいる個人や企業・金融機関などが、外国との間で行った財・サービスの取引、証券売買等の金融取引、それに伴う決済資金の流れなどにつき、月ごとなどの出入りを整理した統計です。後者は、こうした出入りの結果である対外債権債務の残高を年末時点で整理したものです。先ほどの「外為法」上の報告等を利用して作成しています。

海外の中央銀行等への協力

次に、国際局では、海外の中央銀行や国際機関が持つ円資金の運用などに協力するため、これらの先に対し、円資金の預り金口座や、債券等の保管口座の開設などを行っています。

海外の中央銀行や国際機

関とは、どのような先ですか？

取引先名は公表していませんが、数は公表しています。預り金は八八先。債券等の保管は七一先。中央銀行が大半です。ずいぶん多いですね。でもなぜ海外の中央銀行が円の資金を持っているのですか？

海外の中央銀行では、外貨準備として円資金を持っているケースがあります。外貨準備とは、国や中央銀行が為替介入に使用するためや、通貨危機などによって他国に対する外貨の返済が困難になった場合に使用するための資金のことです。

それを日銀に預けているのですね。

そうです。日銀では、預かった資金を事前の取り決めに従って自動的に運用するサービスも提供しています。また、先方で急に円資金が必要になった場合には、預かっている債券を日銀が市場価格で買い取ることできます。

技術支援

中央銀行業務の技術支援も協力の一つです。アジア諸国

をはじめとする海外の中央銀行の要請に基づき、日銀から職員を派遣したり、先方から研修生を受け入れたりしています。

具体的にはどんなことを行っているのですか？

発券、金融調節、決済システム、審査などの中央銀行独自の業務について、実務的なノウハウを中心に教えています。

親切な先輩みたいですね。いつごろから始めたのですか？

最初に職員を派遣したのは、一九六〇年代のアフリカのルワンダですから、既に五〇年近い歴史があります。

国際金融システムの安定

国際金融市場の安定に関するものは、三段階に分かれます。第一段階は、国際金融経済のどこにどんなリスクがあるか観察し、状況が変わったときにどこにどんな事態が生じるか把握することです。

とても難しいことのように思いますが。

はい。そのために内部だけでなく、海外の中央銀行や、BIS（国際決済銀行）、IMF

（国際通貨基金）などの国際機関との協議や国際会議などの場での情報交換も重要です。

G7に総裁が出席しているのもそのためですね。

そうですね。第二段階は、国際金融危機に強い市場をつくることです。BIS、IMF、G7、EMEAなどの国際会議に關係各局から出席し、国際的なルール作りや金融市場の整備育成に貢献しています。

それでも世界的な金融危機は起きたのですよね。

はい。第三段階が、発生した危機に対応することです。今回の世界的金融危機に際し、各国の政府、中央銀行、IMF等の国際機関は、資金融通も含む迅速な対応をとりました。

たしかに、国際的な協調が印象的でした。

二〇〇五年に、国際局の中に、「アジア金融協力センター」を設置しました。主にアジアにおける金融協力の推進、共同調査研究、技術協力や研修の強化を行っています。日銀やアジアの中央銀行等における情報とノウハウを累積し、アジア域内の金融協力を深化させることを目

的としています。

これも、国際金融市場の安定を目指したもののですね。

海外の金融経済などの調査

こうした取り組みの基になるのが、海外の金融経済の調査です。国際局では、海外のさまざまなデータを分析したり、

こうした取り組みの基になるのが、海外の金融経済の調査です。国際局では、海外のさまざまなデータを分析したり、

海外の中央銀行や国際機関から情報を収集したりしています。その結果は、金融政策決定会合での報告や各種国際会議での活動に利用しています。

民間の銀行のように海外に支店はないのですか？

事務所があります。ニューヨーク、ワシントン、ロンドン、パリ、フランクフルト、香港、北京の七つです。

海外の事務所はいつごろからあるのですか？

ニューヨークやロンドンに職員を置いたのは日露戦争のころですから、一〇〇年以上の歴史があります。最も新しい北京事務所は二〇〇三年です。それぞれの国の中央銀行や金融機関などと密接に情報交換しています。海外事務所からは、現地の市場や政策に関する情報、業務の参考になる情報などが本店に送られてきます。また、日銀の政策を現地の中央銀行などに説明することも行っています。

海外のネットワークも使っていますね。今日は忙しい中どうもありがとうございます。

どういたしまして。



EMEAP（東アジア・オセアニア中央銀行役員会議）